

## 共產主義者同盟赤軍派

宣伝局発行

連絡先

TEL (045) 311-7456  
(075) 441-6172

一 部 5 門

一 部 5 門

# 赤電

**10.21**

機動隊セン滅—全都制圧—権力中枢攻撃解体!

# 世界革命戦争の突破口へ！

-10.21-

# 格的蜂起を準備し闘え！

共產主義青年同盟赤軍派

本階級闘争史上に新たな闘争が登場した。権力闘争＝世界武裝革命戦争を闘い抜く世界武装革命戦争を成されたのだ。階級闘争の勝利は、世界的強力な闘争機関を要請する。10・8闘争が切り拓いたのである。10・8闘争を根柢的に乗り越えることが求められるのである。10・6北朝鮮転換は全垂闘一地区反戦に伴う新たな強力な闘争機関＝権力闘争を成されたのだ。階級闘争の勝利は、世界的強力な闘争機関を要請する。革命戦線（準）結成大会は、運動の限界性を自覚し、今後もとしてから取られた。今後も切斷し、一挙に人民の革命戦略＝反革命へを志すとするだるギーを封殺し、新たな主義を許されない。敵対者は、先づ防反革命で、革命的部隊とシズムと外に對する日米共産党の蜂撃目標は、侵略＝反革命へと向かわねばならない。暴力中枢の武装解体の闘いは、すでにアーチスム支配の権力中枢としての首相官邸・警視庁・陸海軍はありえない。現局面の敵には、この攻防は、人が中途半ばなる局面におけるきわめて意義あるものとしてから取られた。今後も

に、國家権力は、縱横無尽に行使するが、その因縁を破壊し廻っているのである。だが、革命的労農派が決戦した準備で、彼らの暴力装置を武装してしまふと、孤立し追い込まれていくのだ。碎ぶるならば、彼らは、必ずかねての階級的本質を現わにせざるを以て、益々凶暴化しつつも、その広がりについて、帝国主義の中陰謀をあき、過渡期世界としての現代社会における人民の自然な生産の性格を明らかにすることによって予見しておかなければならぬ。

一九一七年に労働者国家が登場し、第二次帝國主義戦争を経る中で、かかる安保守をめぐる攻防の質は、その廣がりについて、帝国主義の中陰謀をあき、過渡期世界としての現代社会における人民の自然な生産の性格を明らかにすることによって予見しておかなければならぬ。

國王主義が直接支配した領域の大に存在する段階—過渡期世界へ階に入つた。この世界において國王主義がみすから侵略をしたくなるとするより、不可避に労働者の存在と真向から対立するが故に、且又、労働者國家の存在を殺せんとすることは、国的にはしないことであるが故に、帝國主義諸國家の共同した反革命軍事体制による反革命軍事体制による封じ込めとして對抗する事態を形成しながら、一方では、その共同した反革命軍事体制によってから資本の侵略の欲望を満たしていくのだ。

このようなるものとのみ過渡世界に於ける帝國主義の延命あるが故に、帝國主義内部の矛盾に

帝国が故に、帝國は敵を抹殺せねばならぬ。日本は自ら独占資本の侵略の欲望を擴大し、このことを媒介として、日帝ブルジョアジーの陰謀によって、自ら自ら延長と称して、日本が共同軍事行動における「ハーゲン」を拡大する。彼らの集団策としてあつた「和平交渉」は、斯時的なものであつたが、米帝はベトナムの後退を強いられて、いかにも、米帝はベトナムの軍事行動における「ハーゲン」を擴大する。このよからいきまり、前進が拡がつてゐる。このよからいきまり、前進が擴大する。革命戦争のいきなりは、ヨーロッパとの政治委員会によるのは「やだ」といふことになる。これが、革命戦争が再び抬頭している。

は同質化しており、内攻化しておられ、漫性化しているのであり、ここに規定されて帝国主義内部には腐敗と墜落が漫延するのである。汚職の漫性化、犯罪の凶悪化學間の商品化と墜落が漫延し、こうした全体の状況が、人民内部に価値感の喪失と、広範な政治に対するアバンを生みだす。だが帝國主義は、あくなき利益の獲得をみずから運動の行動としているが故に、剩余価値—超過利潤を求めて市場争奪に狂奔するのだ。

東南アジアに対する侵略—反革命を好みます。なぜなら、かかる方向へ、日米両帝国主義にとじて延命の途はないからだ。かかる方向を決定づけるものこそ佐藤一二クソン会談であり、佐藤は、この会談で沖繩返還を確約させ、斯くてナショナリズムを10・21開戦こそは、11月中旬にいつまでもつておらず、左翼を孤立させつゝ昂揚せしめ、左翼を孤立させつゝなしづらシファシズムで粉碎し、人民を集約（直接的には総選挙で）世界革命戦争を創出せよ、といふ頭で、日米両帝国主義の共同した要約させる。

☆

## 武裝蜂起への道

### 10・21の位置と